

# 木造復元調査費可決へ

## 名古屋城天守閣で市議会

名古屋城天守閣の木造復元構想で、名古屋市が市議会九月定例会に提出した調査費二千五百万円の予算案が可決される見通しとなった。市長与党の減税日本に  
 加え、自民、民主、公明の三党派も賛成に回る。三党派に慎重論は根強いが、市民アンケートの実施などを条件とすることを検討している。

所管の経済水道委員会  
 二十九日に調査費が可決される。三十日の本会議で、調査費を含む一般会計補正予算案が可決され、成立する。

調査費は、天守閣木造復元に向けた初の本格的な予算となる。市は十一月にもゼネコンなど複数の企業から、設計から施工まで一括した計画を募り、概算事業費や工期を明確にした上で、発注手続きに入る。ただ、東京五輪の二〇二〇年七月までに完成させることを条件とするため、議会側は実現の可能性や財源の確保ができるかどうかを疑問視。調査費を含む補正予算案の可否が焦点となっていた。

市側が契約前に市民アンケートを実施すると確約し

たことなどから、議員の間で「今後、受注に手を挙げるとゼネコンの有無や、事業費を見極めてから最終判断すればいい」との意見が強まり、最大会派の自民などが態度を軟化させた。アンケート実施を盛り込んだ付帯決議を合わせた上で、調査費を認める方向で最終調整している。共産は反対する見通し。

裏面へつづく

市

会